令和2年度 課の運営方針書

鹿野総合支所　地域政策課

1　課の運営方針

【課の使命】
総合支所において、地域の行政サービスを提供する総合的な窓口として、迅速、的確な対応に努め、安心安全で住みよいまちづくりを進めます。
また、コアプラザかのにおいては、保健、福祉、医療、生涯学習の複合施設として、市民グループや関係機関との連携、協力により、地域コミュニティ活動の推進を図ります。

【課の目標】
①総合行政サービスを提供する総合支所として、コンプライアンスに基づいた適正な施設管理を行いながら、施設整備に向けた将来の方向性を検討します。

②住民が参画するまちづくり、地域づくりを支援します。コアプラザかのの多様な機能に加え、コミュニティ組織と連携し、地域課題の解決に向けた活動を展開できる拠点施設として、住民活動を支援します。

③夢プランの実現に向けた活動を支援します。昨年策定された地域の夢プランの実現に向け、活動の一つである学校支援策として、学校周辺やコアプラザかの周辺の環境美化活動を行います。

④地域住民主体の自主防災組織の充実を目指します。自主防災組織の自助、共助の地域力向上に向けた活動を支援し、更なる地域の防災体制の充実を図ります。

⑤地域の人権教育推進協議会と連携し、人権意識の啓発と人権教育を推進していきます。

【働き方改革による業務改善等の取組】
課内で業務内容やスケジュールを共有し、優先順位付けや役割分担を適切に行い、職員の業務の効率化と時間外勤務の縮減に努めます。
住民の集う会議等を住民の協力を得て、時間外の開催から時間内の開催へと移行し、時間外勤務の縮減に努めます。

2　担当（係）の使命（果たす役割）

（地域政策担当）
総合計画の推進施策及び地域住民の安心安全な生活に繋がる取り組みを積極的に推進します。
（コアプラザかの担当）
コアプラザかのの利用率向上の取り組みを模索するとともに、地域活動の拠点として、住民活動を支援します。

3　課の経営資源

（1）課の体制

職員数	7 人	うち	正職員	6 人	・	会計年度任用職員	1 人

人件費	正職員	44,064 千円	会計年度任用職員	1,330 千円

※H30職員平均給与（　7,344　千円）ベース　　※予算計上額

（2）事業規模

歳入予算額	1,715 千円	歳出予算額	33,215 千円	（正職員人件費を除く）	担当予算事業数	8 事業

鹿野総合支所　地域政策課

４　課の中期目標（優先順）　第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果　（最終目標）
1	９　都市経営 ３　効率的かつ効果的な行政マネジメントの推進 ５　公共施設等のマネジメントの推進	老朽化している鹿野総合支所を、公共施設等のマネジメントを生かした整備の方向性を地域住民と協議、検討し、方向性を決めていきます。
2	３　地域づくり １　地域コミュニティの活性化 ４　地域づくり推進体制の強化	地域活動の拠点施設であるコアプラザかのを活かし、関係機関とのネットワークを構築し、地域づくりを推進します。
3	３　地域づくり １　地域コミュニティの活性化 １　地域の夢プランの推進	策定された地域の夢プランの実現に向け、行政と住民の協働により活動していきます。
4	１　教育・子育て ２　子どもの健全育成 １　学校・家庭・地域の連携強化	青少年育成市民会議と連携し、子どもの教育を学校、家庭、地域の三者で行える体制を強化していきます。
5	４　安心安全 １　災害に強いまちづくりの推進 １　地域防災力の強化	地域住民主体の自主防災組織の活動の充実、強化を図り、地域防災力を高めます。
6	２　生涯学習・人権 ４　人権尊重社会の実現 １　人権教育・人権啓発の推進	地域の人権推進協議会を支援し、人権教育講座の開催や学校、企業を通した人権啓発活動を行います。